

令和4年度 シラバス

地歴公民

科目(地理研究)

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年文系選択
教科書(出版社)	新詳地理B(帝国書院)	副教材(出版社)等	新詳高等地図(帝国書院) ATLUS WORKBOOK(三宮書店)

1 学習の到達目標

<p>1. 地理への興味・関心を持ち、主体的に学習する態度を育てる。 2. 地理的な認識を深め、国際社会における諸地域との関係について考えさせる。 3. 資料を活用し、表現する力を育てる。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学 期	4	世界の諸地域の姿と地球的課題	世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域における自然環境について理解する。 世界の諸地域の生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。 世界の諸地域が抱える問題について理解する。 世界の諸地域が現代社会全体に与える影響を考察する。 世界の諸地域における宗教と宗教がもつ役割について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む態度 課題プリント ノートの内容
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	地球儀や地図からとらえる現代社会	地球儀や地図からとらえる現代社会	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や地図帳で用いられている緯度、経度といった基礎知識を身につける。 現代社会を形作る国や地域を概観する。 地球の自転と公転が季節に関係していることを捉える。 時差について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む態度 課題プリント ノートの内容
	10				
	11				
	12				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
3 学 期	1	身近な地域の 課題	身近にある様 々な地図	<ul style="list-style-type: none"> 身の周りにおける様々な地図とその特徴について理解する。 GIS(地理情報システム)とはなにかを理解する。 身のまわりに普及するGISを用いた技術の活用場面について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1, 2 学期と同様
			日本の自然環 境と防災	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然災害と結びつくか考察する。 自然災害が人間に与える影響とその対策について理解する。 	
			身近な地域の 課題と地域調 査	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域に存在する問題点を考察し、テーマを設定して調査を行う。 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 地理の基本的問題に関心が持てたか。 積極的に課題に取り組むことが出来たか。 授業を集中して聴くことが出来たか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の地理的事象から課題を見だし、それを多面的・多角的に考察することが出来たか。 読み取った資料から適切な情報を選び出し、表現することが出来たか。
観察・資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳など資料から内容を適切に読み取り、活用することが出来たか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的な諸課題について基本的な知識を身につけることが出来たか。 地域ごとの特徴について理解することが出来たか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断・表現，観察・資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5担当者からのメッセージ(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

世界のさまざまな地域の特徴や暮らしを学ぶ中で、日本という国のあり方を見つめ直しましょう。今後、世界のグローバル化はますます進んでいきます。広い視点を持つことで、多くの気づきを得ることができると思います。
意欲的に取り組み、積極的に授業に参加してください。